

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	香川県地域水産業再生委員会 西讃地区部会
代表者名	部会長 浅野博海

再生委員会の 構成員	粟島漁業協同組合、詫間漁業協同組合、西詫間漁業協同組合、仁尾町漁業協同組合、西かがわ漁業協同組合、観音寺漁業協同組合、伊吹漁業協同組合 三豊市、観音寺市 香川県、香川県漁業協同組合連合会
オブザーバー	

対象となる地域の 範囲及び漁業の種類	<p>[範囲] 三豊市以西の香川県西部地域</p> <p>[漁業の種類] 魚類養殖業（4経営体）、カキ養殖業（14経営体）、小型機船底びき網漁業（147経営体）、船びき網漁業（26経営体）、敷網漁業（2経営体）、流し刺し網漁業（176経営体）、たこつぼなわ漁業（52経営体） 計421経営体</p>
-----------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

西讃地域は比較的単調な海岸線と緩い潮流、干満差の大きい潮汐の燧灘東部と複雑な海底地形、早い潮流の備讃瀬戸西部からなる。かつて燧灘側には広大な干潟が存在したが、干潟干拓事業等により農地、工業用地等に変わってきた経緯がある。備讃瀬戸側でも工業団地造成のため浅海域が埋め立てられ、広大なアマモ場が消滅した。

漁業種類については、小型機船底びき網、さし網、機船船びき網などが主要な漁業として営まれているほか、トラフグを中心とした魚類養殖業及びカキ養殖業が漁業生産の中心となっている。

本地域では漁船漁業の生産比率が 90%以上であり、漁船漁業の盛んな地域となっている。なかでも、カタクチイワシが地域内の水揚量の 8 割を占めており、カタクチイワシを原料に製造する煮干の生産状況が地域の水産業に大きな影響を及ぼす構造となっている。

しかしながら、近年の漁業コストの上昇、魚価の低迷により漁業で生計を立てるのは難しい状況であり、漁業経営体数は減少の一途をたどっている。

(2) その他の関連する現状等

- ・ 近接する地域に小規模な魚市場が点在している。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

- 漁業収入の向上
 - ・水産基盤整備
 - ・新規販路の開拓
 - ・イベントを活用した地元水産物の認知度向上
 - ・水産加工品の開発
 - ・漁業従事者の確保
 - ・収入の安定化
 - ・浜の多面的機能発揮
 - ・瀬戸内国際芸術祭を活用した販売促進
- 漁業コスト削減
 - ・省燃油

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

香川県資源管理指針に沿って各漁業協同組合が定めた資源管理計画に基づき、漁獲努力量の削減に努めており、その履行については香川県資源管理協議会が確認を行っている。

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成26年度）

取組の内容は、取組の進捗状況や得られた成果等を踏まえ、必要に応じ見直すこととする。

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より0.5%増加）</p> <ul style="list-style-type: none">○水産基盤整備<ul style="list-style-type: none">・漁協は、現在各港に点在する小規模な市場施設の統合化を図り、効率的な流通体制の再構築を目指すとともに、水産物を取引する以外にも、地元水産物の加工や新鮮な食事・水産物を提供したり、食育イベントが実施できるような、販売、集客機能を持ち合わせた地域水産業の核となる高度な市場の整備を検討する。各漁協の代表者により、場所の選定等、具体的な内容を漁業者の意見を聞きつつ検討を開始する。○新規販路の開拓<ul style="list-style-type: none">・地区内の全漁業者と漁協女性部は、漁協の協力を得て県・水産関連団体と連携し、カタクチイワシを初めとした地元水産物を使った食育教室を学校や一般消費者を対象として開催し新鮮でおいしい地元水産物をPRする。また、県内小中学校の給食食材として提供について学校関係者との協議を開始する。さらに、域内宿泊施設、飲食店と業務連携し、観光客等に地元で獲れた新鮮な水産物を提供するため、協議を開始する。○イベントを活用した地元水産物の認知度向上<ul style="list-style-type: none">・地区内の全漁業者は、県・水産関連団体（香川県漁業協同組合連合会、さぬき海の幸販売促進協議会等：以下同様）と連携し、地元の水産物が一堂に会したイベントを開催し、県内水産物の認知度向上を図る。○水産加工品の開発
---------------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内のパッチ網漁業者 19 統は、食品加工会社と連携し、新たにイリコ等を使った水産加工品（イリコスナック等）を開発し、新たな販売先を確保することにより、安定的な販売量確保を目指す。 ○漁業従事者の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・19 統のパッチ網漁業者は、県・水産関連団体と連携して、通年で安定した収入を得られる求人プランを策定し、漁業従事者を確保できるようにする。 ○収入の安定化 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 ○浜の多面的機能発揮 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理や藻礁の設置等藻場・干潟の保全等を地域住民の参加や理解を得る形で行う。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。（基準年より 5.0%削減）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○省燃油 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業に参加する地区内の 102 名の漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・13 名の漁業者グループは、省エネ機器への換装を推進する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・省燃油活動推進事業 [国] ・省エネ機器等導入推進事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・漁業収入安定対策事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

2 年目（平成 27 年度）

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より 1.0%増加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水産基盤整備 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、現在各港に点在する小規模な市場施設の統合化を図り、効率的な流通体制の再構築を目指すとともに、水産物を取引する以外にも、地元水産物の加工や新鮮な食事・水産物を提供したり、食育イベントが実施できるような、販売、集客機能を持ち合わせた地域水産業の核となる高度な市場の実施設計を行う。 ○新規販路の開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者と漁協女性部は、漁協の協力を得て県・水産関連団体と連携し、カタクチイワシを初めとした地元水産物を使った食育教室を学校や一般消費者を対象として開催し新鮮でおいしい地元水産物を P R する。また、県内小中学校の給食食材として提供について学校関係者との協議を開始する。さらに、域内宿泊施設、飲食店と業務連携し、観光客等に地元で獲れた新鮮な水産物を提供するため、協議を
--------------	--

	<p>開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イベントを活用した地元水産物の認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、県・水産関連団体（香川県漁業協同組合連合会、さぬき海の幸販売促進協議会等：以下同様）と連携し、地元の水産物が一堂に会したイベントを開催し、県内水産物の認知度向上を図る。 ○水産加工品の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内のパッチ網漁業者 19 統は、食品加工会社と連携し、新たにイリコ等を使った水産加工品（イリコスナック等）を開発し、新たな販売先を確保することにより、安定的な販売量確保を目指す。 ○漁業従事者の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・19 統のパッチ網漁業者は、県・水産関連団体と連携して、通年で安定した収入を得られる求人プランを策定し、漁業従事者を確保できるようにする。 ○収入の安定化 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 ○浜の多面的機能発揮 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理や藻礁の設置等藻場・干潟の保全等を地域住民の参加や理解を得る形で行う。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。（基準年より 5.3%削減）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○省燃油 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の結果を踏まえ全漁船は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・13 名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を削減する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ機器等導入推進事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・漁業収入安定対策事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

3 年目（平成 28 年度）

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より 3.0%増加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水産基盤整備 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、現在各港に点在する小規模な市場施設の統合化を図り、効率的な流通体制の再構築を目指すとともに、水産物を取引する以外にも、地元水産物の加工や新鮮な食事・水産物を提供したり、食育イベントが実施できるような、販売、集客機能を持ち合わせた地域水産業の核となる高度な市場の整備を行う。○瀬戸内国際芸術祭を活用した販売促進。
--------------	---

	<p>○新規販路の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者と漁協女性部は、漁協の協力を得て県・水産関連団体と連携し、カタクチイワシを初めとした地元水産物を使った食育教室を学校や一般消費者を対象として開催し新鮮でおいしい地元水産物をPRする。また、県内小中学校の給食食材として提供について学校関係者との協議結果を踏まえ、メニュー等について試行を開始する。さらに、域内宿泊施設、飲食店と業務連携し、観光客等に地元で獲れた新鮮な水産物を提供するため、メニュー等について試行を開始する。 <p>○瀬戸内国際芸術祭を活用した販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年に開催された瀬戸内国際芸術祭において、会場全体へは107万人、西讃の会場へは国内外から7万人を越える来場者があり、香川県は賑わいをみせた。この中には情報発信力の高いメディア関係者も多く含まれており、香川の水産物をPRする絶好の機会である。また、多くの来場者は、芸術作品だけではなく、瀬戸内の新鮮な水産物を含む『食』への期待は高い。しかしながら、県内における県産水産物の提供体制は脆弱であり、大きなPRの機会を活かしきれていないのが実情である。そこで、次回の瀬戸内国際芸術祭が2016年に開催されるのに合わせ、地域内の483名の漁業者が県、水産関連団体と連携し、来場者に対して地元産の水産物のPR活動や販売促進活動を行う。それにより、芸術祭開催年度における一時的な水産物売上を伸ばすだけでなく、香川の水産物の素晴らしさを県外・国外の方に認識してもらい、長期的な販売量底上げにつなげる。 <p>○イベントを活用した地元水産物の認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、県・水産関連団体（香川県漁業協同組合連合会、さぬき海の幸販売促進協議会等：以下同様）と連携し、地元の水産物が一堂に会したイベントを開催し、県内水産物の認知度向上を図る。 <p>○水産加工品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内のパッチ網漁業者19統は、食品加工会社と連携し、新たにイリコ等を使った水産加工品（イリコスナック等）を開発し、新たな販売先を確保することにより、安定的な販売量確保を目指す。 <p>○漁業従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19統のパッチ網漁業者は、県・水産関連団体と連携して、通年で安定した収入を得られる求人プランを策定し、漁業従事者を確保できるようにする。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。（基準年より5.6%削減）</p> <p>○省燃油</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁船は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・13名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を削減する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。

活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・漁業収入安定対策事業 [国] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]
-----------	--

4年目(平成29年度)

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 3.5%増加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水産基盤整備 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は漁業者とともに、整備した高度機能を備えた市場を活用し、効率的な流通体制を構築し、地元水産物の加工や販売等を行う。施設の機能を最大限活用した運用を行うために、関係者に対する講習会等の開催や運用にあたっての改善点等の検討を併せて行う。 ○新規販路の開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者と漁協女性部は、漁協の協力を得て県・水産関連団体と連携し、カタクチイワシを初めとした地元水産物を使った食育教室を学校や一般消費者を対象として開催し新鮮でおいしい地元水産物をPRする。また、県内小中学校の給食食材として提供について学校関係者との協議結果を踏まえ、メニュー等について試行を開始する。さらに、域内宿泊施設、飲食店と業務連携し、観光客等に地元で獲れた新鮮な水産物を提供するため、メニュー等について試行を開始する。 ○イベントを活用した地元水産物の認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、県・水産関連団体（香川県漁業協同組合連合会、さぬき海の幸販売促進協議会等：以下同様）と連携し、地元の水産物が一堂に会したイベントを開催し、県内水産物の認知度向上を図る。 ○水産加工品の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内のパッチ網漁業者 19 統は、食品加工会社と連携し、新たにイリコ等を使った水産加工品（イリコスナック等）を開発し、新たな販売先を確保することにより、安定的な販売量確保を目指す。 ○漁業従事者の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・19 統のパッチ網漁業者は、県・水産関連団体と連携して、通年で安定した収入を得られる求人プランを策定し、漁業従事者を確保できるようにする。 ○収入の安定化 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 5.9%削減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○省燃油 ○省燃油 <ul style="list-style-type: none"> ・全漁船は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・13名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を削減する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。
活用する支援措置	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国]

置等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業収入安定対策事業 [国] ・ 香川県水産振興総合対策事業 [県]
----	---

5年目(平成30年度)

取組の最終年であり、以下の取組を引き続き行うが、目標達成を確実なものとするよう、プランの取組の成果を検証し必要な見直しを行う。

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 4.0%増加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水産基盤整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁協は漁業者とともに、整備した高度機能を備えた市場を活用し、効率的な流通体制を構築し、地元水産物の加工や販売等を行う。施設の機能を最大限活用した運用を行うために、関係者に対する講習会等の開催や運用にあたっての改善点等の検討を併せて行う。 ○新規販路の開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内の全漁業者と漁協女性部は、漁協の協力を得て県・水産関連団体と連携し、カタクチイワシを初めとした地元水産物を使った食育教室を学校や一般消費者を対象として開催し新鮮でおいしい地元水産物をPRする。また、県内小中学校の給食食材として提供について学校関係者との協議結果を踏まえ、メニュー等について試行を開始する。さらに、域内宿泊施設、飲食店と業務連携し、観光客等に地元で獲れた新鮮な水産物を提供するため、メニュー等について試行を開始する。 ○イベントを活用した地元水産物の認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内の全漁業者は、県・水産関連団体（香川県漁業協同組合連合会、さぬき海の幸販売促進協議会等：以下同様）と連携し、地元の水産物が一堂に会したイベントを開催し、県内水産物の認知度向上を図る。 ○水産加工品の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内のパッチ網漁業者 19 統は、食品加工会社と連携し、新たにイリコ等を使った水産加工品（イリコスナック等）を開発し、新たな販売先を確保することにより、安定的な販売量確保を目指す。 ○漁業従事者の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 19 統のパッチ網漁業者は、県・水産関連団体と連携して、通年で安定した収入を得られる求人プランを策定し、漁業従事者を確保できるようにする。 ○収入の安定化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 6.2%削減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○省燃油 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全漁船は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・ 13 名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を削減する。 ・ 漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。
活用する支援措	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業経営セーフティネット構築事業 [国]

置等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業収入安定対策事業 [国] ・ 香川県水産振興総合対策事業 [県]
----	---

(4) 関係機関との連携

<p>○香川県水産試験場との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水産試験場が行う資源管理に関する調査の結果を基に、効率的な資源管理に努める。 ・ 当地域での水質等環境条件に適した養殖技術について研究を共同で行う。 <p>○他地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他地域の漁業協同組合とも連携し、運送の共同運行などにより流通コストの削減を目指す。
--

4 目標

(1) 数値目標

漁業所得の向上 %以上	基準年	平成 年度：漁業所得	千円
	目標年	平成 年度：漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
<ul style="list-style-type: none"> ・省燃油活動推進事業 [国] 	<p>燃油経費への負担を軽減し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ機器等導入推進事業 [国] 	<p>省エネ機器への換装を促進し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] 	<p>燃油経費への負担を軽減し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・漁業収入安定対策事業 [国] 	<p>漁業者の収入安定を図り、漁業経営の基盤を強化することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] 	<p>沿岸域の環境美化、藻場・干潟の保全、海難救助など、浜の持つ多面的機能を発揮する活動を実施することにより、浜の活力再生プランで目指す漁村地域の活性化に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・香川県水産振興総合対策事業 [県] 	<p>水産物の販売促進、食育活動等に取り組むことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>